



NO.1276

7月19日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三二四四五八
F四三二四四五七



新庁舎建設に意見を

ふれあい懇談会でも

6月末、「新庁舎建設基本構想策定検討委員会」が新庁舎建設基本構想の策定について、市に答申しました。その後、北海道新聞や地方紙の報道があり、「新庁舎は金市館跡地周辺に決まったのだ」と、多くの市民は思っています。

建設位置は決まっていらない

しかし、答申はされても、位置は、まだ、決まっています。「地方公共団体は、事務所の位置を変更する場合、条例で定める」(条例は、議会において出席議員の3分の2以上の同意が必要)(地方自治法第4条)だからです。11名以上の議員の同意が必要です。

アンケートでは

建設位置に疑問の声
昨年、市が行った市民アンケートでは700通ほどの回答があり、自由記述の項目では建設地についてが最も多く、55の回答がありました。

内容は「防災の観点や居住人数を考えて」「津波災害を考え高い場所を」「水場から遠くに」「金市館ビル跡地を決めたプロセスは?」「高層の庁舎は維持費や利便性は」「商店街のために金市館が良い」などで、市が決めた位置に疑問の意見が多くありました。

基本構想への意見書

6日から市が行っている「まちづくりふれあい懇談会」では「市の財政悪化が心配」「網走高校の活用を何故しなかった」「大雨や津波を考えて高台に」など意見が出されています。

昨年の台風災害では、宮城県丸森町の役場周辺が冠水し、災害対策の機能を果たすのが困難になりました。災害への対応は市役所の一番の役目です。先日の線状降水帯による豪雨災害は毎年起きています。専門家は、日本列島どの地域でも起きる可能性があると指摘しています。

市民は、アンケート結果や懇談会の声に耳を傾けて、建設位置を含め再度検討すべきです。現在、市は7月31日まで「新庁舎建設基本構想」に対しての意見を市民に求めています。

市民が50年以上利用する建物です。市民の声をパブリックコメントで、市に伝えるチャンスです。裏面に意見書用紙を載せています。ぜひ、みなさんもFAX、Eメールで声を出してください。お願いします。

松浦奮戦モ!



の感染者が確認されたと発表しました。玉城知事は「米軍の感染防止対策に対し強い疑念を抱かざるを得ない」と述べ、クラスターの発生している基地の閉鎖を求めると示しました。また、米軍が感染症対策として、海外から人事異動者などを対象に沖縄県北谷町内のホテルを借上げて隔離措置を行っている問題で、野国北谷町長は沖縄防衛施設局に対し、町民に多大な不安を与える今回の隔離措置について厳重に抗議しました。

抗議文には「米軍人の人事異動等で沖縄に来た人たちは家族も含め、しかるべき期間を米軍施設内において隔離し管理」することを求めています。県は感染人数の開示を求めています。米軍は応じていません。一部報道では感染者は100人とのことです。これほど重大な問題を政府は、なぜアメリカに情報の開示を求めないのでしょうか。アメリカにモノが言えない安倍政権には呆れるばかりです。

被災地に心のこもる募金が



買い物帰りに募金をする市民

日本共産党網走市委員会は、11日(土)、街頭宣伝後の正午からコープさつぽろ網走店前で、九州地方から東海地方を襲っている豪雨災害救援募金に取り組みました。松浦、村椿両市議と党員と後援会員で約45分間、募金活動を行いました。買い物帰りに車に一度戻ってから募金してくれる人や、「以前、熊本に住んでいたから」と話してくれる人や小銭入れのお金を全部入れてくれた人もいました。みなさん、被災地を心配して早く募金にに応じていただき、募金額は30,941円集まりました。募金は、党本部を通じて、全額が被災した市町村に届けられます。

流水

6月26日、愛知県生活保護引下げ違憲訴訟の不当判決が出された翌日、衆院第一議員

会館で、緊急院内集会が開かれました。命のとりで裁判全国アクション主催で会場には120人、ネットでの参加を含めると二百数十人となりました。道内から参加した原告は「自分の事のように残念でくやしい気持ちでいっぱいです。」と言います。物価を偽装して国の肩を持ち、憲法25条の「健康で文化的な最低限の生活」をも無視した裁判官に怒りの発言が続きました。全国で1000人を超える原告が訴えている裁判の最初の判決であり、「人間の証」が奪われています。「勝利は闘うものの手」に「いのちの最終ラインを守ろう」と運動はまだまだ続きます。▼さて、この7月が一番身近の人からのSOSで私は忙しくしております。でも、子どもや孫ちゃん、知人の皆さまの協力や励ましのおかげで何とか乗り切ろうとしています。感謝、感謝。北見生活と健康を守る会 副会長 神田 優

